

車椅子を使用する患者における ABIの検討

医療法人社団スマイル 博愛クリニック

○沖永鉄治 松下剛史 迫田夕子 吉田賢治 藤井恵子
大谷真帆子 山田有美 進藤稔弘 頼岡徳在 高杉啓一郎



目 的

当院では患者の高齢化に伴い車椅子を使用する患者が増加している。

今回、車椅子を使用する患者の特徴をABIの観点から検討し報告する。



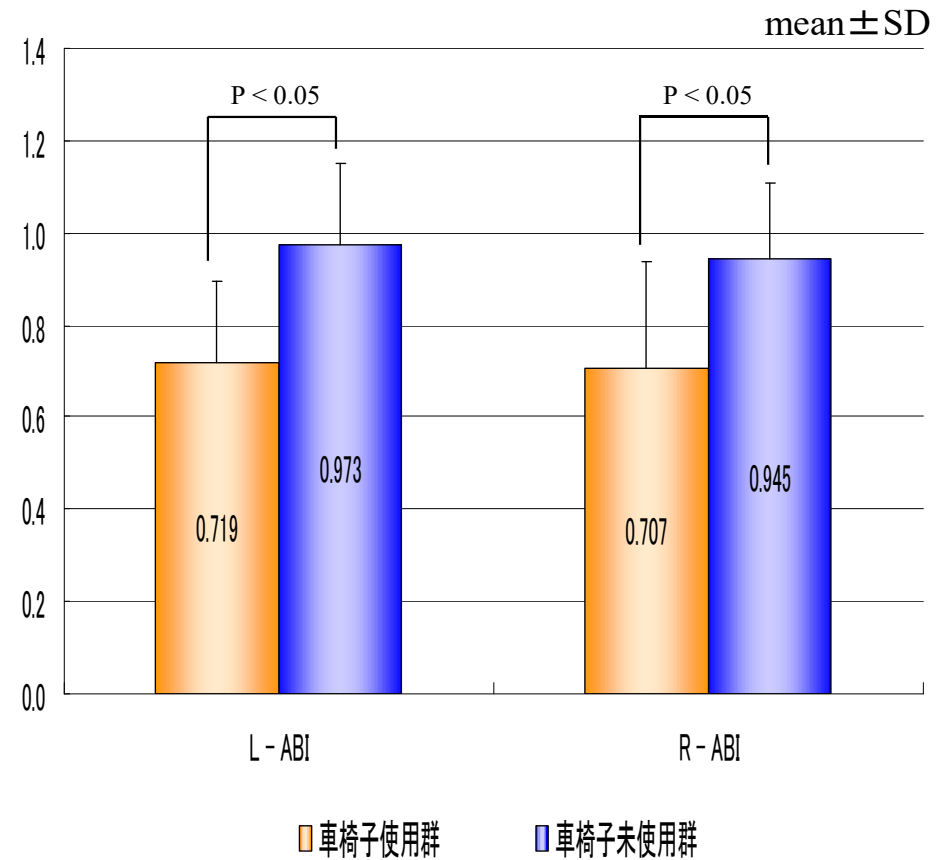
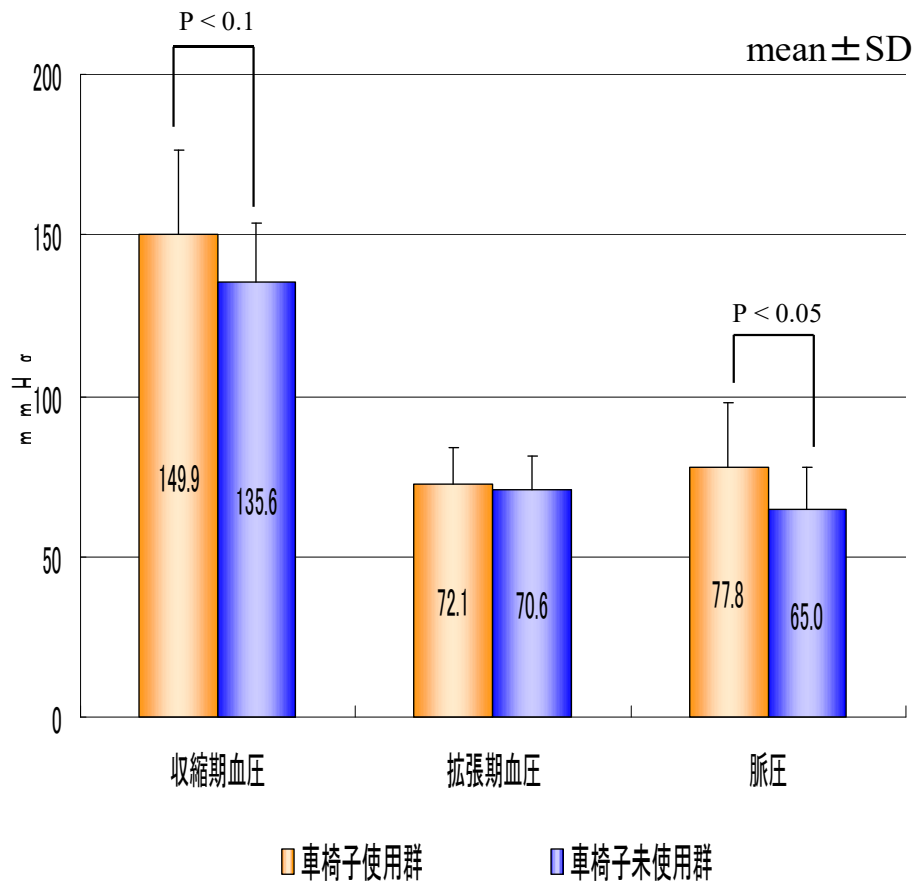
対象・方法

対象	車椅子使用群 (n=15)	車椅子未使用群 (n=15)
年齢	79.8 ± 9.4 歳	79.5 ± 8.2 歳
男：女	6：9	6：9
透析歴	165.8 ± 146.2 ヶ月	158.4 ± 144.0 ヶ月
喫煙の有無	喫煙者 1 名	喫煙者 2 名
原疾患	○慢性糸球体腎炎：6 名 ○糖尿病性腎症：3 名 ○腎硬化症：2 名 ○その他：4 名	○慢性糸球体腎炎：6 名 ○糖尿病性腎症：4 名 ○腎硬化症：2 名 ○その他：3 名

上記の2群において血圧・脈圧・ABI・血液データ (Ca・IP・T-CHO・HDL-C・LDL-C・TG・CRP・Alb) を比較した。

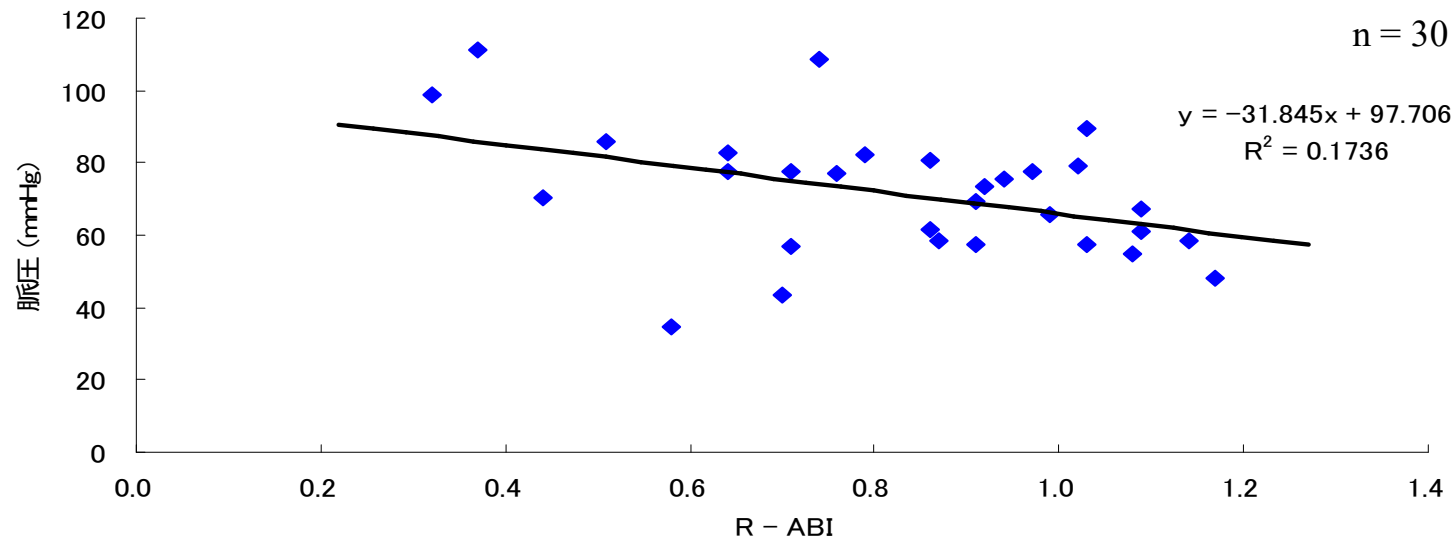
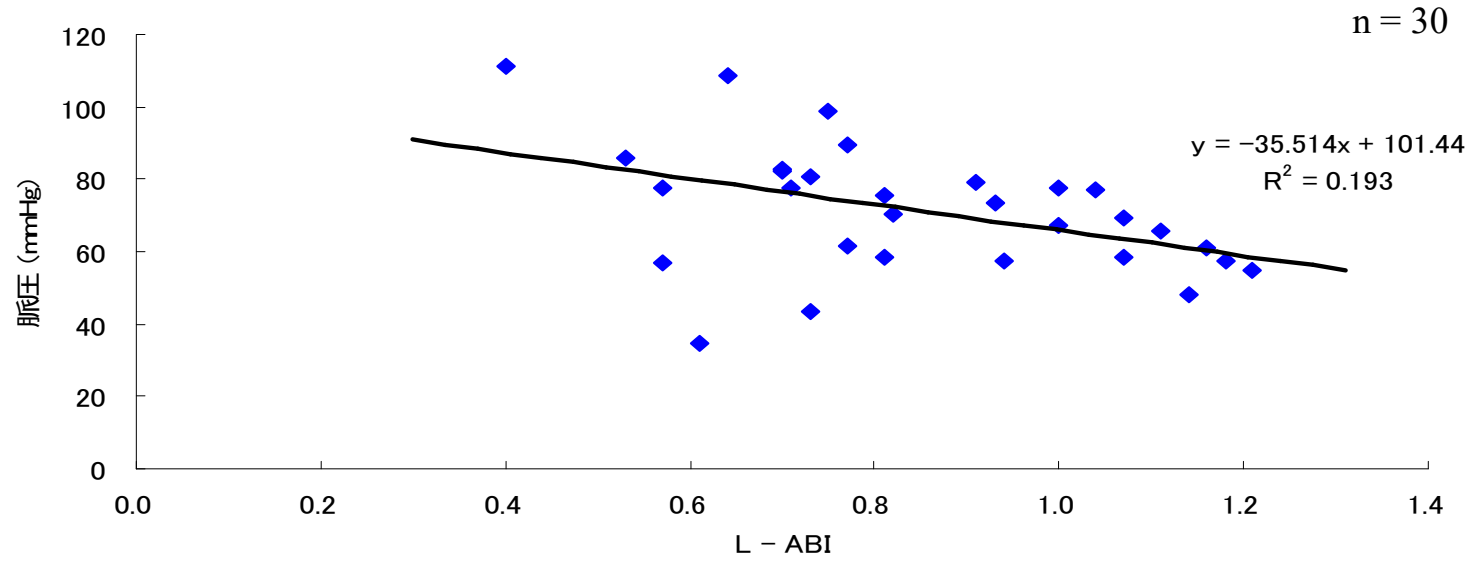


結果 1



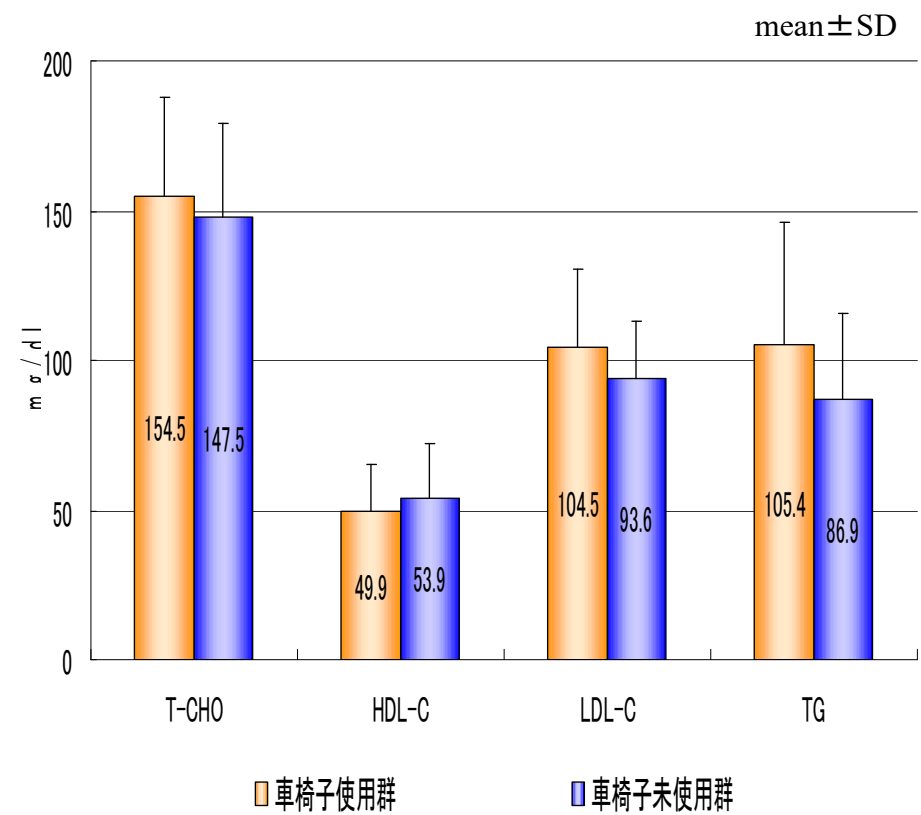
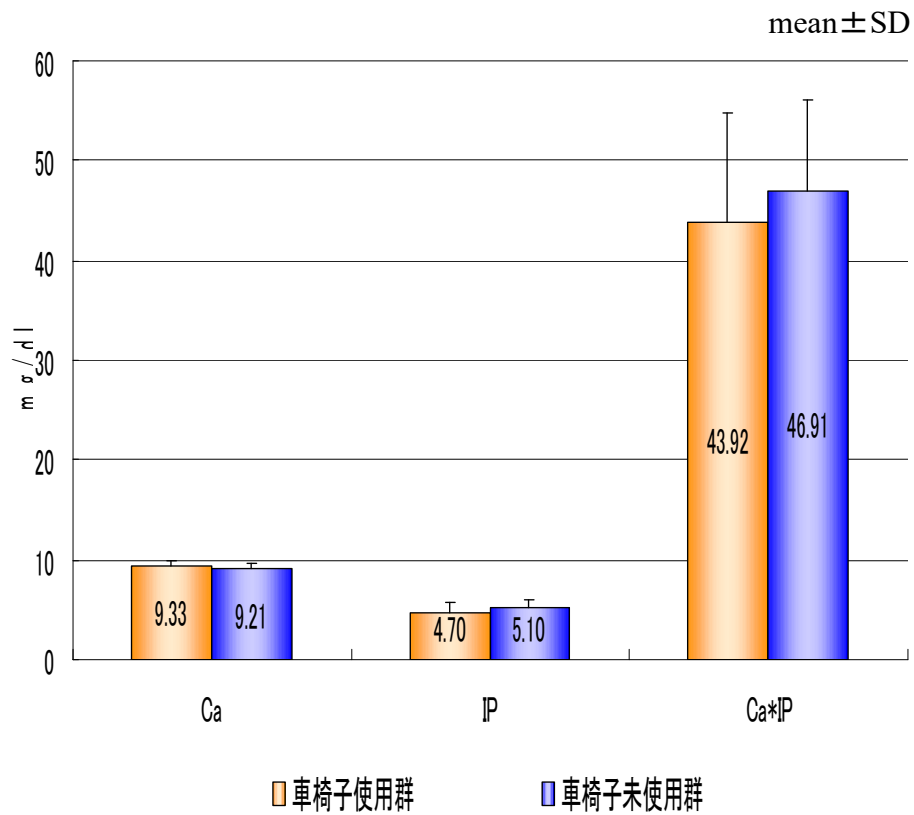


結果 2



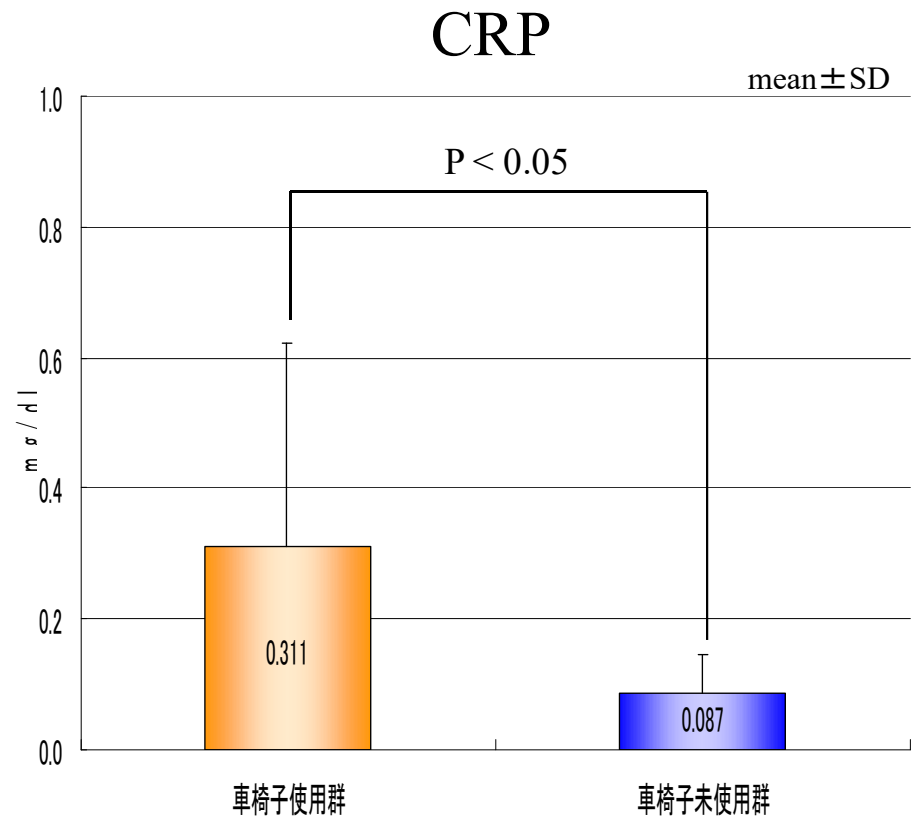
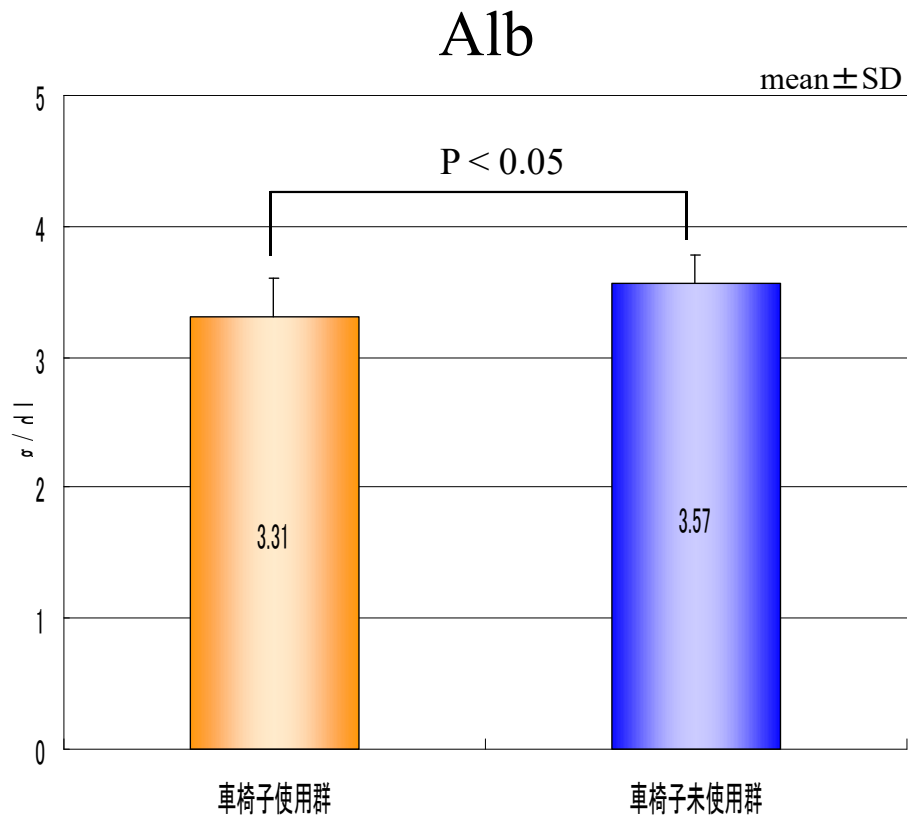


結果 3





結果 4





まとめ

車椅子を使用している患者は車椅子を使用していない患者に比べ、**ABI・Alb**が有意に低く、**CRP・脈圧**で有意に高値を示し、収縮期血圧が高い傾向にあった。また、**ABI**と脈圧には負の相関を認めた。



結 語

車椅子を使用する患者は脈圧が高く動脈硬化が亢進しており、ABIの低下に寄与していると思われる。また、CRPが高いことにより動脈硬化がより亢進される状態であると考えられる。

**中国腎不全研究会
COI開示**

**筆頭発表者名
沖永 鉄治**

**演題発表に関連し、
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。**